

あじえんだ 春

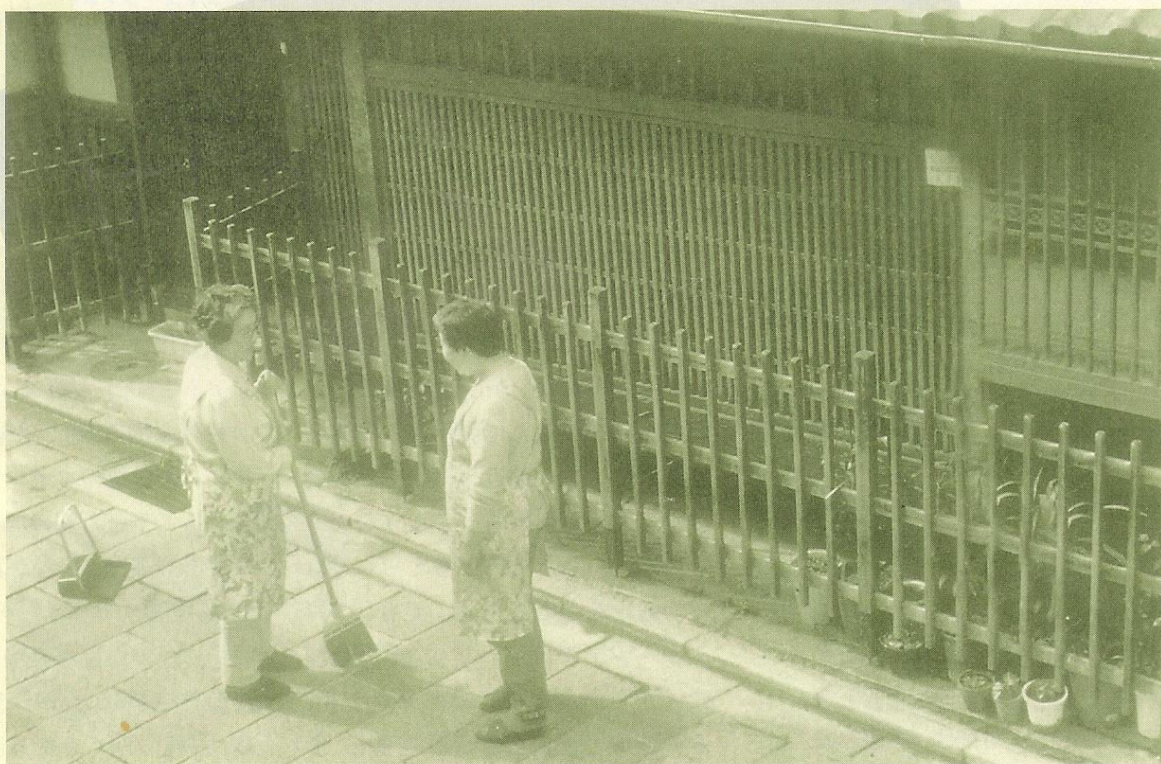
2000

第3号

2000年3月31日発行

みやこ
京

のアジェンダ21
フォーラム
ニュースレター



未来に残したい……
京の知恵

かど
門 掃 き

不思議な感覚が「門掃き」にはある。世の中のためという謙虚さと、

なにか町を背負っているような気負い、

優越感と奉仕精神の絶妙の一体感。

自分の町化であり、

町の自分化の心境であり、

町全体を我がものとして感じられる。

ひるがえって今日の、

前の通りとは無関係無関心に

建てられた家々。

通りは多分役所あたりが

掃除するだろうとのこと、

だから玄関から中だけが

自分達の世界とばかりに飾り立てる。

具合の悪いものとはともかく家の外へ、

それが今日の町、

今日のごみ戦争なのだ。

本当のごみを出さない暮らしへの

意識改革の出発点は、

この「門掃き」にあったのです。

写真 京都商工会議所 提供

*詳しくは5ページをご覧ください

「アジェンダ21」とは
「21世紀への課題」
という意味。

「京のアジェンダ21
フォーラム」では、
市民・事業者・行政が
力を合わせて
環境と共生できるまちの
姿を描いていきます。

アジェンダを語る

MYAKO no Agenda21

エコミュージアムの魅力

笹谷康之

京都市中京区出身、現在は、滋賀県甲西町の緑が多い山つきの元別荘を購入して住む。筑波大学大学院環境科学研究科修了、茨城大学助手、(株) 地域開発研究所研究員を経て、立命館大学理工学部土木工学科助教授。専門は、景観の設計・計画、GIS（コンピュータ地図）、市民参加のまちづくり、環境システム。

計画推進委員会副委員長、エコミュージアムWGコーディネータ。



今年に入って、フォーラムの6つめのワーキンググループ「エコミュージアム・ワーキンググループ」が活動を開始しました。そこで今回は、エコミュージアムについてご紹介します。

「エコミュージアム」って何？

「エコミュージアム」とは、端的に言えば「地域まるごと博物館」であると考えて下さい。

「博物館」と聞くと、昔の王侯貴族のぶんどり品や、かび臭い古めかしい貴重品を収蔵して展示する建物と思われる方や、最近では、子ども受けする大きなおもちゃのようなモノが並んでいるところと考えられる方がいるかもしれません。でも、エコミュージアムは違います。その地域に元からあったモノでありコトを、その地域で住民自身が再発見し、それをその場所で動態保存して、地域の将来を創り上げていくための、博物館を模したしくみであるにとらえるとよいでしょう。

エコミュージアムは、30年ほど前にフランスの博物館関係者の手で生み出されました。エコロジーの「エコ」と、博物館の「ミュージアム」とをつなげた造語で、英語圏や日本ではフランス語の「エコミューゼ」を、英語風に「エコミュージアム」と読んでいます。エコと言っても、自然環境だけでなく、自然遺産と文化遺産とを地域で一体として保全していく



第1回月例会（2000年3月11日）
アジェンダフォーラム会議室にて
「エコミュージアムの概念と実態－海外の事例と明日香村での実践－」講師 吉兼秀夫氏（阪南大学国際観光学科・JECOMS理事）

ことをめざしています。京都のように、歴史的な文化遺産がたくさん残っている地域にとって、わかりやすい考え方です。

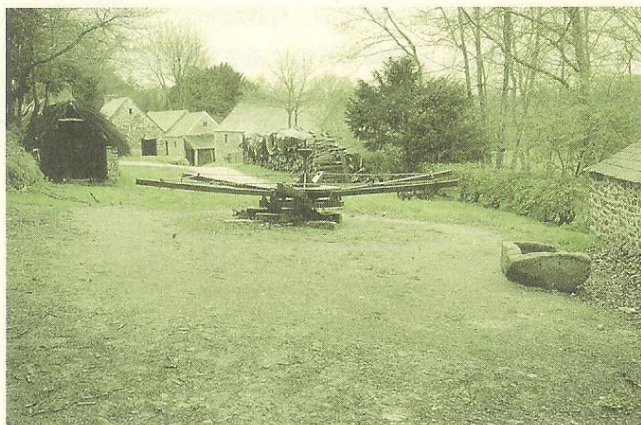
また、エコミュージアムは、「地域を映し出す鏡」であり、エコミュージアムという活動は、地域の「記憶の井戸を掘る」ことだと言われています。発祥地のフランスでは、地域によって千差万別のエコミュージアムがあります。筆者が見てきただけでも、石造りの集落とその周りの田園、一つの大きな農場、昔の製鉄関連産業史跡群、自然が豊かな一つの島、古城や近くを走る廃線になった鉄道（ときどきSLを走らせている）が散在している地域等々があり、一つ一つが地域の固有性を発揮したエコミュージアムとなっていました。

農場のエコミュージアムでは、在来品種の農作物を作り、在来品種の家畜を飼い、謝肉祭等で家畜を使った料理をつくり、付設する市民農園で在来の有機農法を住民に指導し、ジーンバンク（遺伝子保存）の役目や伝統技術の継承を担っていました。地域の伝統的な生活を映し出す鏡であり、生涯学習の学校、遺産の研究所、保全センターの三つの機能

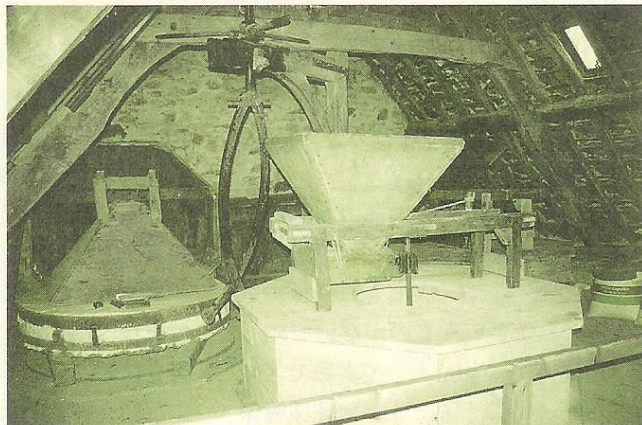
▶ バッセーヌ・エコミュージアムのサテライトの風車
壊れた12世紀の風車を住民の手で修築し、昔と同じように粉挽きなどに使われている



▼ モンダレーエコミュージアムのコアのコマナ集落
石積の家屋や農場など、集落全体を保全し、伝統的な有機農業が体験できる



牛に粉を挽かせる場所



水車小屋の中

をもちあわせていました。さらに、代々地域で受け継がれてきたライフスタイルであり、その地域の記憶を伝える活動を行っていました。

ワーキンググループに参加しませんか？

さらに、エコミュージアムは、行政区域を越えて一つの文化圏を対象としており、その中ではコアミュージアム、サテライトミュージアム、発見の小道で構成されています。コア、サテライト、発見の小道等の施設ごとにアソシエーション（NPOのこと）が構成され、エコミュージアム全体でもアソシエーションが設けられることが多く、住民によって運営され、行政によって支援されています。平成14年に京都市内にでき

る予定の環境学習エコロジーセンターをコア、市内や結びつきが深い周辺地域に散在する遺産をサテライトや発見の小道に見立て、市民と行政とが連携するというしくみは、当フォーラムの活動としてふさわしいと考えています。

日本では、エコミュージアムはまちづくり、環境教育、生涯学習、文化財保護、博物館等々、多くの分野の人々の手で支持されており、「日本エコミュージアム研究会」という全国組織もあります。

3月11日に行われた第1回エコミュージアム月例会には、岩手や広島の方も含めて、35名もの人々が集まり、大盛況でした。特に、旧梅屋小学校の記憶が一杯詰まった学舎の雰囲気、多くの参加者が感動し

ていただいた点が、印象的でした。元小学校の古い校舎は、エコミュージアムのコアやサテライトにぴったりの地域の記憶を拾い集め、将来に活かす拠点なのです。

平成12年度、エコミュージアム・ワーキンググループは、旧梅屋小学校を拠点としつつ、屋外にもウォッチングに出るなど、月例会を地道に続け、参加者とエコミュージアムの考え方をじっくり共有します。13年度以降は、具体的に京都にエコミュージアムを創る活動に向かうかもしれません、まだ未定です。月例会の記録は、テープ起こしをしてしっかりと残しますし、エコミュージアムの資料を事務局に揃えます。月例会等の活動に幅広い人々の参加をお待ちします。

中口毅博さんに聞く

ほんとうの「ローカルアジェンダ21」とは？



本当の「ローカルアジェンダ21」とはどのようなものなのかを探るため、自治体における環境政策に詳しい中口毅博さん（環境自治体会議政策研究所研究主幹）にお話を聞かせていただきました。

＊環境自治体会議は、市町村長による環境政策推進のためのネットワーク組織です。

Q. ローカルアジェンダ21とはどういうものなのか、わかりやすく説明していただけますか？

まず、どんなものがローカルアジェンダ21と呼べないかということから説明します。日本では、ローカルアジェンダ21というものが都道府県と政令指定都市を中心として多数できています。そのほとんどが、地球環境保全のための行動計画とされています。環境基本計画などですでに将来目標が策定されていて、その目標を達成するために、行政や市民が、何をしたらいいか、行動メニューを並べただけのものが多いですね。エネルギー節約のために電気はこまめに消しましょうとか。そのような地球環境保全のためのアクションプランだけでは、本来の意味でのローカルアジェンダ21とは呼べないと私は考えています。その意味で、京都市の取組みはほんとうのローカルアジェンダ21に近いですね。

Q. では、本当のローカルアジェンダ21は？

まず課題の抽出が必要です。地域で何が問題になっているのか、それを明らかにするところから、20年後30年後にどのようにしていきたいか、ビジョンを導いていきます。そして、その実現にはどうしたらいいのか、ということから議論を始めます。初めから課題が決まっています、それを整理すれば

いいというものではありません。課題を決定するプロセスで、利害関係の異なるいろんな立場の人が課題を共有するときに必要なことです。そこには、環境に関する市民団体もいれば、商工会議所や青年会議所の人もある。工場を持っている人もいれば、農業をやっている人も主婦もいる。できたものは、一つの「目録」とでもいうものであって、まず必要なのは、いろんな立場の人が、情報を共有することです。

次に、扱う領域のお話をしましょう。そもそもアジェンダ21では「持続的発展」をめざしている訳ですが、コミュニティの持続的発展が主要な目的の一つになります。もちろん有限な資源を使いながら、地域を発展させていくということが大前提ですが、産業・教育・福祉・人権・コミュニティ参加などのテーマが含まれてきますね。

Q. 環境庁が、ローカルアジェンダ21をつくる指針にあげている、持続可能な都市をつくっていく、市民参加、具体的な行動計画であるなど、今おっしゃったキーワードが3つ入ってます。お話のなかで、市民参加のことなんですが、これまでの事例では、市民と行政との関わりはどうなっているのでしょうか？

最初にローカルアジェンダ21ができた神奈川県の場合、パートナーシップ型の策定協議会というものをつくっていました。しかし、実際に聞いてみると、行政がつくった内容を手直しする程度だったようです。参加する人たちが自身が、主体的に案を考えて実行に移しているところは少ないですね。豊中市と京都市、埼玉県の志木市ぐらいです。あとは、行政がほとんどつくっていて、良くて市民からヒアリングをする程度です。

Q. どうして、市民と対話をすることができないのでしょうか？

行政が市民を信用せず情報を流さないこと、市民も行政依存体質から抜けきれていないからではないですか。市民は、自分の周りのことに目がいきがちで、町全体をどうしていきたいかというところまで目が届かない人がまだまだ多い。行政は市民を参加させ、主体的に行動するよう誘導するノウハウを持っていないから、市民参加はできないと考えてしまう。どちらの側にも協調してやっという意識をもっている人はいるのに、それが組織全体に広がっていないのではないのでしょうか。

Q. 市民全体のビジョンが描ききれないということですか？

市民が考えついたことを素直に出せば良いのに、行政がきれいに作りすぎているということでしょうね。

Q. 海外ではどうなのでしょう？ 日本より成功している事例を聞かせて頂けませんか？

海外の事例については、研究している人に聞くと、スウェーデンやイギリスのローカルアジェンダ21はいいと言いますね。市民が自分で地域をつくっているという意識を持っているんです。中身は日本のローカルアジェンダとそんなに変わらないものも多いんですが、大きな違いは、市民自身が参加して、自分たちができることを描いている、というところでしょうね。何人がプロセスを共有しているか、ということです。

自分たちの地域のために、自分たちのビジョンを描き、自分たちの手でやっというプロセスがローカルアジェンダ21にとって重要であるということですね。今日はありがとうございました。

（聞き手 宇高史昭 まとめ 千葉有紀子）

Q 京都市では、家庭ごみに可燃・不燃の区別がありませんよね。他の地域から京都市にきた人に「京都市のごみ分別って遅れてる」と言われます。クヤシイ！（左京区 S）

A 内陸都市である京都市では埋立地の確保が困難で、ごみの最終処分量をできる限り少なくする必要があります。そのため、収集したごみを直接埋め立てるのではなく、焼却するなどして重量と容積を減らして埋立処分をします。焼却は、環境への影響をできるだけ減らすように最新技術の公害防止設備を持つクリーンセンターで行い、焼却で発生した熱エネルギーは発電に利用しています。また、缶・びん・ペットボトルは分別回収し、紙パックや乾電池は回収拠点を設けています。ごみ問題の解決は、各都市の特性に応じて環境負荷・経済性等を総合的に考えて取り組むことが重要であり、「分別区分が少ない」ことが「遅れている」ことにはつながらないと考えています。

ごみ問題の解決には、「発生抑制」「リサイ

クル」「適正処理」の順で取り組むことが重要であり、大量生産・大量消費・大量廃棄を見直してごみを出さないくらしを実践することが最も大切です。そのうえで、リサイクルできるものは分別収集や店頭回収・集団回収などをし、それでもごみになるものは、できる限り環境負荷を減らして「適正処理」をすることになります。ごみを出さない「環境共生型都市・京都」をつくるため、市民の皆さんとのパートナーシップのもと、ごみ減量・リサイクルの取り組みを進めていきたいと思います。

（京都市環境局）



京の知恵

未来に残したい...

其の参、

かどは 門掃き

「門掃き三寸」という言葉が、京の暮らしのなかにある。自分の家の前は毎朝自分が掃除する。だけど図に乗って隣家の前まで掃いてはなりません。親切どころか、まるで怠慢さを非難しているようにお隣りに失礼になる。しかしキッチリ境目までというのも優しくない。で三寸つまり10センチだけ余分にお隣さんを掃除する。一方お隣りも10センチ余分に我が家の前をしてくださる。

都合20センチのお互いの気遣いは、町への住まい手達の心と心をつなげる「縫いしろ」のようだ。京都の町の美しさはこのような見識からできていた。京町家の姿もまた、これらの暮らしの姿勢から生まれてきた。

やっている人なら分かる不思議な感覚が「門掃き」にはある。世の中のためという謙虚さと、なにか町を背負っているような気負い、優越感と奉仕精神の絶妙の一体感。自分の町化であり、町の自分化の心境であり、町全体を我がものとして感じられる。

ひるがえって今日の、前の通りとは無関係無関心に建てられた家々。通りは多分役所あたりが掃除するだろうとのこと、だから玄関から中だけが自分達の世界とばかりに飾り立てる。具合の悪いものはともかく家の外へ、それが今日の町、今日のごみ戦争なのだ。

本当のごみを出さない暮らしへの意識改革の出発点は、この「門掃き」にあったのです。

恩地惇

（会員、環境デザイナー・

GK京都取締役社長）



街角に放置されたごみ

エコツーリズム ワーキンググループ

●1月17日(月)、「宿泊施設における環境問題に関するお客様へのアンケート」の結果と分析についての報告・意見交換会を行いました(アジェンダフォーラム会議室にて)。14の宿泊施設よりご出席があり、現場のご意見をお聞きすることができました。

●2月10日(木)には、「エコツーリズム都市・京都シンポジウム」が開催されました(ウイングス京都にて)。

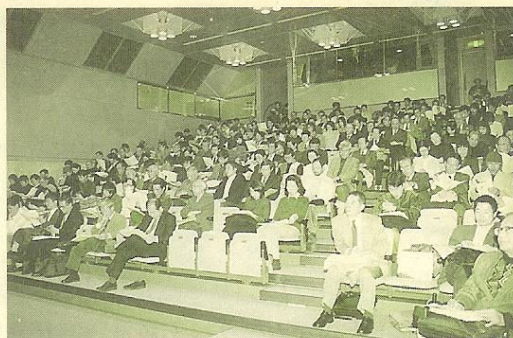
第一部は岡田知弘さん(京都大学経済学部教授)による基調講演「これからのエコツーリズム都市・京都」。京都の観光産業の実情とこれからの観光事業のあり方についてのお話をうかがいました。岡田さんは、これからの観光産業には「環境と両立する視点」が重要であるとの提言をされていました。

第二部の分科会は、4つのテーマに分かれて行われました。

テーマ1は「まちづくりと観光・環境」。塚本圭一さん(北海学園北見大学産業観光学部教授、環境市民理事)の「エコシティ・エコツーリズム・エコミュージアム」についてのお話のあと、「まちづくり・観光・環境の調和」と「市民・行政・事業者とのパートナーシップづくり」について、質疑応答と意見交換が行われました。

テーマ2は「交通問題」。まず、参加者間で京都観光における交通面でのメリット・デメリットについて意見交換をしました。そして、藤井聡さん(京都大学大学院工学研究科土木システム工学専攻助手)より、京都観光における交通の現状と自動車規制によるメリット・デメリットについて解説がありました。

テーマ3「修学旅行を考える」では、福岡県・宮田西中学校の藤渕明宏校長先生より、修学旅行における環境学習の体験報告をうかがいました。宮田西中学校では、今まで2回にわたり、京都の環境NGO「環境市民」が企画している「京都エコ修学旅行」を実施しています。また、修学



ホールをぎっしり埋めた参加者



分科会2「交通問題」のようす

旅行関連書籍の編集に携わる水口保さん((株)教材研究所)からは、修学旅行と「総合的な学習の時間」の関わりについてお話がありました。

テーマ4「旅館・ホテルのエコ化」においては、角新支朗さん(京のアジェンダ21フォーラム エコツーリズムWG、環境市民エコツアー研究会)より「宿泊施設における環境問題に関するお客様へのアンケート」の結果報告がありました。また、柴原陽子さん(ヒルトン大阪 人事部トレーニングコーディネーター)からは、ヒルトンホテルがECOTEL(アメリカの環境に配慮するホテルの認証制度)取得に至った経緯について報告があり、向井征二さん(オービス環境マネジメント研究所 所長)からは、デンマークの環境認証制度である「グリーンキー」の紹介等をお聞きしました。

参加者数は全体で221名にのぼり、「新たな観光のあり方」への関心の高まりを実感できるシンポジウムでした。

「宿泊施設における環境問題に関するお客様へのアンケート」結果と分析の報告書(概要版)をお分けします。

ご希望の方は、80円切手を貼付し返信先住所・氏名を明記した封筒を、下記住所までお送りください。また、4月には詳細な報告書を発行する予定です(有料。頒布価格未定)。こちらでもご希望の方は下記へお知らせください。

(報告書ご請求・お問合せ先)

京のアジェンダ21フォーラム会議室

〒604-0091 京都市中京区釜座通丸太町上ル梅屋町 元梅屋小学校2階

TEL/FAX 075-254-1273

E-mail ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

企業活動 ワーキンググループ

事業者の「環境にやさしい企業活動・製品づくり」が求められるなか、その国際的な基準としてISO14001の認証取得が目まぐるしく行われています。大企業が競って認証を取得する一方で、中小の企業や商店の方々にとっては、人的・経済的な負担を強いられることとなるため、なじめない部分があるようです。

「企業活動ワーキンググループ」では、「ISO14001」へのステップとして、また京都独自の環境に配慮した企業活動・製品づくりの基準として、「京都環境マネジメントシステムスタンダード (KES)」(仮称)という規格づくりを進めています。KESの認証を取得された企業やお店の製品や商品を、「環境への負荷が少ない＝環境にやさしい」ものと認め、グリーン購入の推進をめざします。また、京のアジェンダ21フォーラムにおいて支援体制を構築し、環境にやさしい企業、お店をめざす方々を応援したいと考えています。

企業の方も参加する小委員会において検討を重ねてきた結果、KESの原案も完成されました。今後は今年中に規格を完成することをめざして、京のアジェンダ21フォーラム関係者、学識経験者等によるヒアリング、実際にいくつかの事業者において試行をしたうえで原案の修正・補強をしていきます。

環境について考えている企業やお店の方々が元気な「環境都市・京都」をめざす「企業活動ワーキンググループ」の活動や、企業の環境マネジメント等のシステムに関心をお持ちの皆様はぜひご参加ください。



交通 ワーキンググループ

「環境にやさしい交通体系の創出ワーキンググループ」では、京都でエコロジカルな交通システムを創ることをめざし、具体的に提案および実践活動をしていきたいと考えています。そのためには、地域の住民・交通や環境に関わる行政部局・交通事業者・商店街などの事業者・市民・NGOなどが対等に参加し、各利害をお互いに配慮しつつ合意形成を図っていかなくてはなりません。このワーキンググループはまだ始まったばかりですが、時間をかけて多くの関係者が知恵を出し合うことによって、少しずつ良い方向へとコンセンサスを形成する円卓会議として機能させたいと考えています。

今までに2回の交通ワーキンググループ会議を開きました。1回目は各自の交通問題に対する思いやこれまでの取組みを語り合い、2回目は実践活動をしている方から報告を聞きました。また4月から運行される100円循環バスの応援もしていこうという提案も出しました。毎回、終了予定時刻を大幅に上回るほど、活発な意見交換や議論が続いています。

今後は、この問題についての認識と情報を共有化できる幅広い市民参加のプロセスのなかで自転車専用レーンの設置やトランジットモール(歩行者専用のショッピングモールに公共交通を運行させた商業空間)化、路面電車の復活など中心市街地におけるエコロジカルな交通のしくみについて様々な可能性を具体的に議論していきたいと考えます。今年はそのプロセスにしたがってワーキンググループでまとめた中心市街地のエコ交通プラン案をシンポジウムなどの形でひろく市民に問いかけていきたいと考えています。中心市街地の交通体系を自動車優先から、歩く人・自転車・公共交通を大切にする形に変えることで、観光業や商店街を活性化でき、中心市街地を、地域住民はもちろん買い物客や観光客にとっても魅力あるエリアに変えていくことが、可能になることでしょう。

このテーマについて一緒に考え実践してくれる多くのの方々の参加をお待ちしています。

イベント情報

4月22日は「アースデイ」

「アースデイ2000きょうと」に参加しませんか?

「アースデイ」とは、1970年4月22日にアメリカで始まった地球環境を守るためのキャンペーン。

京都でも、「アースデイ2000きょうと」を開催します。アジェンダフォーラムも市役所前の「アースデイひろば」に展示を出します。皆さんお問い合わせのうえご参加下さい。

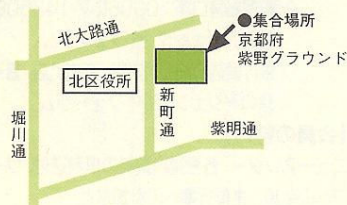
アースデイひろば(イベントや展示)

午前11時～午後4時 市役所前広場にて

自転車パレード

午後1時30分に、各自自転車を準備のうえ、京都府紫野グラウンド(北区役所の東:地図参照)集合。市内を巡回して京都市役所前までパレードを行い、「アースデイひろば」に合流します。

※いずれも参加は無料です。



ひと
まち
きたる

十倉 真未子 さん

(おこしやす京都委員会)

待ち人来る、ではなく「ひと・まち・きたる」。
京のアジェンダ21フォーラムの会員で、積極的に活動
されている方を紹介していきます。



カフェテラス
にて
撮影：
千葉有紀子



十倉真未子さん：生まれてからずっと京都市左京区在住、京都に大変愛着を持っている。現在は、「京のアジェンダ21フォーラム」と、京都観光の振興のための各種のプロデュースを行っている「おこしやす京都委員会」（事務局は京都市観光振興課）で活動中。元私立中・高等学校社会科教諭。小さいお子さんをもつお母さんでもある。

—なぜ環境問題に関心をもつようになったのですか？

子どもが生まれてから、子どもに対しての責任という点から、大変環境を大切に思うようになりました。

—「京のアジェンダ21フォーラム」と「おこしやす京都委員会」に参加されたのは？

旅行が大好きで、観光には興味をもっていました。子どもが生まれてから家庭のみの毎日となりましたが、社会との接点を保ちたいと思い、市民新聞で記事を拝見して応募した次第です。「あまり外出できない人でもお手伝いできそうかしら」と。

子育てと家事、家業が中心で外出が難しいので、みなさんの意見をいただいて、自宅で実践的なアイディア・手法を形づくっていくということが中心です。できる範囲でのことなので、みなさんに引っぱっていただいているというのが現状です。

—管理会計を京都大学で学ばれ、税理士の資格も持たれているとうかがいました。経営に興味がおありとか？

ええ。それで、「おこしやす京都委員会」の5つの部会のうち「ベンチャービジネス振興部会」に所属しています。昨年、「第1回観光ベンチャー企業事業プラン・観光アイディア」を募集し、熱意あふれるたくさんのご応募をいただきました。その観光アイディアをまとめた冊子が観光振興課より出されています。みなさんひとご感想をお聞かせください。

—「京のアジェンダ21フォーラム」での活動は？

エコツーリズムワーキンググループに所属し、観光関連施設のエコロジー化を担当するチームで宿泊施設に環境対策を進めていただくよう働きかけています。昨年11月に宿泊施設においてお客様へのアンケートを大規模に実施し、お客様は環境対策に積極的・好意的という結果が出ました。でも、なかなか宿泊施設にご協力いただけず困っています。じょうずに環境対策をすればコストが長期的には必ず減り、お客様への広報効果と合わせると多大な利益が宿泊施設にもたらされると確信しています。私たちはそれを真剣にお手伝いしたいのに、伝わらないのです。どうすれば宿泊施設に伝わるのか、みなさんに知恵をお貸しいただきたいです。そして、私たちのチームのメンバーに加わっていただきたいのです。

—これを読んでいる方々に今後の抱負を。

メンバーは、私も含めて皆忙しいなか、時間をやりくりして活動しています。1人1人ではプログラムを達成できませんが、得意なところを少しずつ分担し、合議を重ね、各人のリスクを下げながら全体として確実にプログラムを達成していくことが理想です。労力的にも資金的にも、最少の投資で最大の効果を上げる実践プログラムをフレキシブルに編み出していきたいと思っています。

—どうもありがとうございます。

(聞き手 千葉有紀子)

京のアジェンダフォーラム入会のご案内

【年間会費】

一口1,000円を単位として、会員ごとに次の口数分とします。

(1)個人会員 1口 (2)団体会員 2口以上

*会費は郵便振替または銀行振込をご利用ください。

◇ 郵便振替口座：00960-7-143508

京のアジェンダ21フォーラム

◇ 銀行振込口座：三和銀行京都支店 普通 5468383

京のアジェンダ21フォーラム

【会員の特典】

ニュースレター・各種案内資料の無料送付、ワーキンググループへの参加、主催行事への参加など

みやこ

京のアジェンダ21フォーラムニュースレター 2000年春(第3号)

発行：京のアジェンダ21フォーラム事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地

京都市環境局環境企画部地球環境政策課内

TEL. 075-222-4037 FAX. 075-222-4039

E-mail. ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL. <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>

企画：同フォーラムニュースレター編集チーム

編集：佐藤桂子・竹花由紀子・千葉有紀子・松田直子・水口保

デザイン・レイアウト：藤本芳一

※このニュースレターは古紙100%の再生紙に大豆油インクを使用しています。